

新潟金属加工と尾張七宝の「コラボレーション」まとう」が
「二〇一三年度グッドデザイン賞」を受賞！

メモリアルアートの大野屋（東京）

仏事関連総合サービスのメモリアルアートの大野屋（東京）が開発したミニ骨壺タイプの手元供養商品「まとう」（全三色）が「二〇一三年度グッドデザイン賞」を受賞した。同社のミニ骨壺シリーズがグッドデザイン賞を受賞するのは、昨年の「ミニ骨壺シンプルモダン」に引き続き二回目となる。

グッドデザイン賞の審査員からは、「ミニ骨壺「まとう」は親しい人の遺骨や遺灰をいつも身近に置いておきたいというニーズ、仏壇を置けない住宅環境に対し、住空間に溶け込む小型で美しい骨壺の提案である。装飾には伝統工芸である尾張七宝を採用し、おごそかなイメージとともに普遍性のある美しさを実現させた。量産加工処理の難しい七宝の端部を上手に隠し、手を掛けた複数の部材を組み上げながら滑らかなシルエットに仕上げた技術が高く評価された。」と評価された。

ミニ骨壺「まとう」はグッドデザインエキシビション（東京ミッドタウン 十月三十日～十一月四日）に
出展される。

<http://www.ohnoya.co.jp/company/news/2013/008664.shtml>

 GOOD DESIGN
AWARD 2013



ミニ骨壺タイプの手元供養商品「まとう」（全三色）（メモリアルアートの大野屋（東京）